

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

2015年度支部総会・父母懇談会総括

後援会会長 小林章



今夏に開催した全国36支部の支部総会・父母懇談会は、台風の影響により一部地域で交通経路の変更などの対応はありましたが、7月11日(土)の茨城県、福井県、青森県支部から始まり、8月30日(日)の香川県、大分県支部を最後に、滞りなく終了しました。本年の周年対象支部は創立40周年に当たる栃木県支部でした。田中優子総長も列席の上、盛大で華やかな記念式典が挙行されました。改めまして、お慶びを申し上げます。

その他の支部でも、総長、常務理事、理事、副学長、学部長、総務室長などの先生方や職員の間から心のかもった対応を受け、各支部の支部長をはじめとする支部役員の間から熱心かつ真摯なご尽力をいただきました。いずれも笑顔があふれ、記憶に残る、充実した総会・父母懇談会だった

と思えます。誌面をお借りして、関係者の皆さまに厚く感謝し、御礼を申し上げます。

法政大学はスーパーグローバル大学創成支援の採択を受け、「世界のどこでも生き抜く力」をメインテーマに掲げて、さらなる進化・発展を遂げようとして取り組んでいます。私たち後援会も、大学および校友会と協力して、さまざまな支援を行っていきます。また後援会本部では、各支部の父母および保護者の皆さまからいただいた意見や要望を参考に、「大学と学生の一番の応援団」として教育事業や課外活動へ、より一層の支援を果たすべく、大学関係者と話し合いを重ねていきます。引き続き後援会活動へのご理解、ご協力、ご支援をよろしく願っています。

郡山支部総会・父母懇談会・懇親会 大盛會!

郡山支部長 橋本制一(智恵美/法学部)



7月25日(土)郡山ビューホテルアネックスにて、第49回郡山支部総会・父母懇談会・懇親会を開催しました。

今年度は、支部総会・父母懇談会と新入生父母の集いを同日に開催するという初めての取り組みで、開催に際して不安も抱えていましたが、役員会での綿密な話し合いの成果もあり、盛会のうちに終了しました。

父母懇談会では、新田誠吾副学長の講演がありました。とても親しみやすい温厚なお人柄で、保護者からとても信望を集めていました。

具体的な大学生活の様子を新入生保護者の皆さまにお知らせするために、職員2人を招いて、パネルディスカッションも行いました。郡山出身の櫻田主任には、例



身も行った。郡山出身の櫻田主任には、例

年お世話になっており、コーディネーターを初めて務める歴代の支部長は大変助かっています。

学生は、最初は非常に緊張していましたが、さすがは法政大学生だけあって、話し合いを進めていくうちに、明るく堂々とした態度で話してくれました。

その後は、大学側から人事部人事課の石井泰地氏、キャリアセンター市ヶ谷事務課の平野優貴氏、後援会から柳田明彦副会長、今泉拓総務、市川雅子事務局長も出席いただき、盛大な懇親会が行われました。最後には全員が肩を組んで、「子どもの母校は我が母校」の気持ちを含めて、校歌を大合唱しました。

末筆となりましたが、開催に当たり尽力してくださった全ての皆さまに、御礼を申し上げます。



栃木県支部 創立40周年

栃木県支部長 鈴木利永(誠司/法学部)



7月20日(月)栃木県宇都宮市のホテルニューイタヤで、創立40周年記念の栃木県支部総会・父母懇談会を開催しました。

当日は多くの方にお集まりいただき、大学からは田中優子総長、半澤昌宏キャリアセンター部長、増田昌幸卒業生・後援会連携室課長、図書館事務部多摩事務課の小林千里氏。後援会本部からは小林章会長、総務の祖父江一仁氏、歴代の支部長の方々、そして、県内各地からいらした保護者93人が出席くださいました。

総会では、決算報告など五つの議案が可決・承認され、滞りなく終了しました。その後の父母懇談会では、「世界のどこでも生き抜く力」と題した田中総長の特別講演が行われ、大盛況となりました。国際化、少子化の中で、大学も教育プログラムや環



境を変えようとしていること、世界でひるまないメンタルの育成に取り組んでいることなど、貴重なお話に参加者は聞き入っていました。

続いて行われた懇親会では、田中総長を囲んで記念写真を撮ったり、たくさんのお話をしたり、とても楽しい時間となりました。最後に、田中総長と握手をして大感激の中で閉会するまで、あつという間の一日でした。

末筆となりますが、栃木県支部40周年記念行事を大成功で終えられたのは、昨年より準備を進めていた前太田聡支部長をはじめとする役員者の皆さまのおかげだと感謝しています。これからも法政大学の発展のため、栃木県支部役員一丸となつて、力を尽くしていこうと思います。今後ともよろしくお願いたします。



山梨県支部総会・父母懇談会報告

山梨県支部長 新谷時男(大樹/社会学部)



山梨県支部では、7月25日(土)甲府市岡島ローヤル会館にて「支部総会・父母懇談会、懇親会」を同時開催しました。

総会では、支部長と鶴巻義久後援会副会長によるあいさつの後、昨年度の事業報告および決算報告、ならびに監査報告が行われました。続いて、今年度の事業計画と予算、来年度の役員選出を行い、すべて可決・承認されました。最後に、退任される役員への感謝状が、雪田修一情報科学部長から贈呈されました。

父母懇談会の第1部では、田中優子総長からのメッセージ、小林章後援会会長のあいさつ、学生インタビューが収録されたDVDを放映し、学生の両親より「感動した」というコメントがありました。

さらに、雪田情報科学部長による講演に続いて、入学センター入試課の勝俣吉通氏とキャリアセンター多摩事務

課の麻場友理佳氏が、学生生活や成績、就職活動のことなど、役立つ情報を分かりやすく説明してくださいました。

第2部では、大学や後援会に関して活発な質問が飛び交い、雪田学部長、鶴巻後援会副会長、鈴木聖子後援会顧問が一つひとつ丁寧に答えられています。第2部の開会と同時に「成績」「学生生活」「就職相談」について、三つの部屋に分かれて個別懇談を行いました。

勝俣氏、麻場氏と経理部経理課の岡田侑子氏は親身になってアドバイスしてくださり、参加者からも好評でした。この後の懇親会も盛り上がり、有意義な一日となりました。



静岡支部総会・父母懇談会を終えて



静岡支部長 菊地秀明 (駿介/スポーツ健康学部)

7月20日(月)、ホテルセンチュリー静岡にて支部総会・父母懇談会が行われました。大学からは平塚真樹総長室長をはじめ4人、後援会からは鶴田善徳顧問を含めて2人の方々が出席してくださいました。

「世界のどこでも生き抜く力」と題した、平塚総長室長の講演に続いて、大学職員ならびに後援会の皆さまから、大学の現況や就職に関する説明がありました。参加した父母の皆さんからの質問や疑問に、親切丁寧に答えていただき大変感謝しています。また、大学職員による個別相談も、時間いっぱいまで対応していただきありがとうございます。これからの大学と父母の橋渡しとして



て信頼される後援会を目指すとともに、法政大学および後援会のますますの発展を祈っています。

懇親パーティーでは、平塚総長室長はじめ大学職員や後援会本部の皆さまと、私たち支部役員、父母の方たちとで親睦を図ることができ、とても有意義なひとときが過ごせたと思います。これからの大学と父母の橋渡しとして

山口県支部総会・父母懇談会報告



山口県支部長 伊藤龍義 (正義/法学部)

7月25日(土) ホテルサンルート徳山で、第17回山口県支部総会・父母懇談会を開催しました。支部会員から26人の保護者の皆さま、大学から奥田和夫文学部長をはじめ職員2人、後援会本部からは千葉大一顧問と秋山太史総務が出席してくださいました。

総会議事は円滑に進み、懇談会では、最初にDVDを視聴。田中優子総長と小林章後援会会長のメッセージを静聴し、応援団員のインタビュウからは、笑いあり涙ありのアットホームな学生生活がうかがえました。奥田和夫文学部長の講演では、温厚な人柄と優しさを感じる哲学話や、若いころに山口県を訪れたエピソードなどで和やかな雰囲気にな



な雰囲気にな



「子どもの母校は我が母校」のもとに集う皆さんの熱意にあらためて、身の引き締まる思いとともに、和やかで有意義な会を開催できたことを感謝する一日となりました。

「8月23日菅平ラグビー応援」報告



常任幹事 松岡孝幸 (翔吾/経済学部)

8月23日(日) 法政大学ラグビー部を激励するため、大東文化大学とのオープン戦が行われた長野県菅平高原に応援に行きました。A戦では、キックオフ早々にトライを取られて苦しい出だしとなりましたが、後半はフォワードが健闘しモールからのトライなどで反撃しました。A戦B戦とも惜敗となりましたが、A戦後半の戦いぶりは9月から始まる関東大学リーグでの躍進を大いに期待できるものでした。

この試合の観戦は、後援会と長野県支部の共同企画でした。長野県支部、全国の会員の皆さま、校友会と、多くの方が参加して、熱い声援を送りました。試合終了後は、記念撮影や後援会からの差し入れ贈呈など、選手

ルに疎い私でも応援に熱が入りました。菅平高原は、ラグビーの合宿地として有名と言われるだけあって、街中にラグーマンがあふれ、すれ違うだけで圧倒されます。コンビニエンスストアには水専用の巨大な冷蔵庫があったり、ラグビー関連のお店も多くあったりして、試合以外にも楽しめます。ぜひ来年は、菅平のラグビー応援に参加してラグビー観戦の面白さを体験してみませんか。そして熱い合宿を乗り切った法政大学ラグビー部への応援も、よろしくお願いします。



後援会から差し入れの贈呈



菅平の風景



選手との記念写真



試合の様子

「本部役員多摩キャンパス見学ツアー」報告



常任幹事 平山智子 (哲/理工学部)

7月4日(土)、多摩キャンパス見学ツアーに参加しました。まずは、地下1階、地上5階建てのエッグドームから見学が始まりました。エッグドームは多目的施設として造られ、音楽室や230席のホールがあり、サークルやグループ、ゼミなどの団体だけでなく、個人でも利用できるそうです。

次に向かったのが、スポーツ健康学部棟です。棟内の食堂には「ゆびスポ」という静脈認証システムが導入され、学生の食事管理をしています。

図書館では、土曜日にもかかわらず、学生が自習する姿が見られました。さらに驚いたのが、昨年12月に完成したばかりの「クリエイティブルーム」です。通常の図書閲覧席とは異なり、カフェのような落ち着いた雰囲気でした。個人のパソコンが持ち

込めるように無線LANや電源設備も備わっていて、議論や留学生との交流の場として使われているようです。総合体育館にはさまざまな設備があり、プールやトレーニングセンター、そして柔道場や射撃場なども見学することができました。最後に城山地区へ移動し、人工芝のサッカー場と馬場を見学しました。馬術部の厩舎では、10頭ほどのサラブレッドとアメリカミニチュアホースのモカが、私たちを迎えてくれました。この緑豊かな恵まれた環境で、大学生活を送ることができる学生をうらやましく思いながら帰途に就きました。



体育館



スポーツ健康学部棟



図書館